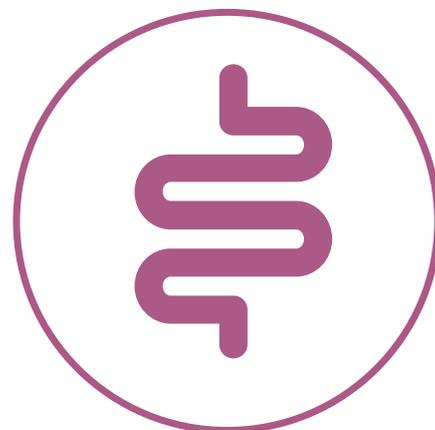




消化器系疾患

# 猫の便秘と巨大結腸



猫の便秘は比較的良好な問題です。多くの場合、1~2回で治りますが、慢性的な便秘や重度の便秘は、重症で頑固な便秘や巨大結腸を引き起こすことがあります。

猫の便秘の原因としては脱水が最も一般的ですが、他の疾患（大腸の閉塞、電解質のアンバランス、神経筋疾患など）が便秘の原因や一因となることもあります。具体的な治療計画に影響するため、可能な限り、便秘の根本的な原因を特定し、治療または管理することが重要です。

猫の便秘、頑固な便秘、巨大結腸の管理には、栄養が重要な役割を果たします。最も重要な食事の要因は、水分、食物繊維、消化の良さです。

## キーメッセージ

- 軽度から中等度の猫の便秘を管理する場合、食物繊維と水分を増やすことが改善する重要な栄養素となります。
- 便秘の猫の多くは脱水症状を起こしており、大腸からの水分吸収が進み、乾燥した硬い便が残ります。適切な水分補給を維持し、便を柔らかくし、水分摂取量を増やすための選択肢は次のとおりです。
  - ウェットフードを与える（缶詰、袋詰めなど）
  - ドッグフードに水を加える
  - 家での水飲み場の数を増やす
  - 栄養豊富な味付きの水分補給物を与える

(次のページに続く)

## キーマッセージ (続き)

- 食物繊維 (理想的には水溶性食物繊維と不溶性食物繊維の組み合わせ) を増やすと便秘の猫に有効な場合があります。水溶性食物繊維は便の水分量を増やし、不溶性食物繊維は便のかさを増やし、結果として大腸の蠕動運動と反射的収縮を改善します。食物繊維の摂取量が増加する場合、水分を充分とることが非常に重要です。
- 巨大結腸の猫には、便の量を減らすために消化率の高い食事を与える必要があります。
- 食事の変更が必要であれば、受け入れられるように徐々に行う必要があります。

## 追加のリソース

Benjamin, S. E., & Dobratz, K. J. (2020). Retrospective evaluation of risk factors and treatment outcome predictors in cats presenting to the emergency room for constipation. *Journal of Feline Medicine and Surgery*, 22(2), 153–160. doi:10.1177/1098612X19832663

Chandler, M. (2013). Focus on nutrition: Dietary management of gastrointestinal disease. *Compendium: Continuing Education for the Veterinarian*, 35(6), E1–3.

Davenport, D. J., Remillard, R. L., & Carroll, M. (2010). Constipation/obstipation/megacolon. In M. S. Hand, C. D. Thatcher, R. L. Remillard, P. Roudebush, & B. J. Novotny (Eds.), *Small animal clinical nutrition* (5th ed., pp. 1117–1126). Mark Morris Institute.

Linder, D. E. (2017). Featuring fiber: Understanding types of fiber and clinical uses. *Today's Veterinary Practice*, 7(1), 69–74. <https://todaysveterinarypractice.com/acvn-nutrition-notesfeaturing-fiber-understanding-types-fiber-clinical-uses>

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。